

平成16年度(2004年度)

自己点検・評価報告書

大学基準協会加盟判定審査結果報告

目 次

序 章

家政女学校の設立	1
戦後の発展	1
大学設立の沿革と特色	1
附置施設	
1．人間学研究所	2
2．心理臨床センター	2

第 1 章 大学の理念・目的および学部・大学院研究科の使命・目的・教育目標

大学・学部の理念・目的・教育目標とそれに伴う人材養成等の目的の適切性	
1．大学・学部の理念と目的	4
2．教育目標と人材養成の目的の適切性	
文化人類学科	4
臨床心理学科	5
現代社会学科	6
大学院研究科の理念・目的・教育目標とそれに伴う人材養成等の目的の適切性	
1．大学院研究科の理念と目的	6
2．教育目標と人材養成の目的の適切性	
文化人類学研究科	7
臨床心理学研究科	8
建学の精神・学部等の理念・目的・教育目標等の周知の方法とその有効性	9
課題と今後の方向性	10

第 2 章 教育研究組織

第 3 章 学士課程、修士課程・博士課程の教育内容・方法等

学部・学科等の教育課程	
1．教育研究の目的・内容およびカリキュラムの体系性	
文化人類学科	
(1) 教育研究の目的・内容	12
(2) カリキュラムの特徴・体系性及び課題と対応	13
臨床心理学科	
(1) 教育研究の目的・内容	15
(2) カリキュラムの特徴・体系性	16
(3) 課題と対応	16
現代社会学科	
(1) 教育研究の目的・内容	17

(2) カリキュラムの特徴・体系性	17
(3) 課題と対応	18
共通教育および基礎教育	
(1) 教育研究の目的・内容	18
(2) カリキュラムの特徴・体系性	18
(3) 課題と対応	19
語学教育	
(1) 教育研究の目的・内容	20
(2) カリキュラムの特徴・体系性	20
(3) 課題と対応	21
2 . 授業形態と単位の関係	
(1) 現状	22
(2) 点検・評価	22
(3) 課題と対応	22
3 . カリキュラムにおける高・大の接続	22
4 . 単位互換制度	
(1) 目標・現状	23
(2) 点検・評価	23
(3) 課題と対応	23
学士課程の教育方法等	
文化人類学科	
1 . 厳格な成績評価の仕組み及び履修指導	24
2 . 教育改善への組織的な取り組み	25
臨床心理学科	
1 . 厳格な成績評価の仕組み及び履修指導	25
2 . 教育改善への組織的な取り組み	26
現代社会学科	
1 . 厳格な成績評価の仕組み及び履修指導	
(1) 厳格な成績評価の仕組み	26
(2) 履修指導	27
2 . 教育改善への組織的な取り組み	
(1) 学科内 F D 体制の確立	27
(2) 今後の教育改善	28
共通教育	
1 . 厳格な成績評価の仕組み	28
2 . 履修指導	29
3 . 教育改善への組織的な取り組みと課題	
(1) 運営組織	29

(2) 担任(ナビゲータ)制度の充実	29
(3) 課題	29

語学教育

1. 厳格な成績評価の仕組み	29
2. 履修指導	30
3. 教育改善への組織的な取り組みと課題	30

修士課程・博士課程の教育内容・方法等

1. 大学院の教育課程

文化人類学研究科

(1) 研究科の理念・目的	31
(2) 教育内容の特色	31
(3) 学部・学科との関係	31
(4) 教育・研究指導の適切性	32
(5) 履修指導の適切性	32
(6) 社会人・外国人・留学生等への教育指導への配慮	33

臨床心理学研究科

(1) 研究科の理念・目的	33
(2) 教育内容の特色	34
(3) 教育課程の編成	34
(4) 学部・学科との関係	36
(5) 臨床心理学研究科修士課程と博士(後期)課程との関係	37
(6) 教育・研究指導の適切性	38
(7) 履修指導の適切性	38
(8) 社会人・外国人・留学生等への教育指導への配慮	39

2. 大学院の教育方法等

文化人類学研究科

(1) 教員の教育・研究指導方法の改善を促進するための 組織的な取り組み状況	39
(2) シラバスの適切性及び今後の展望	40

臨床心理学研究科

(1) 教員の教育・研究指導方法の改善を促進するた めの組織的な取り組み状況	40
(2) シラバスの適切性	41
(3) 今後の展望	41

3 . 学位授与・課程修了の設定	
文化人類学研究科	42
臨床心理学研究科	42

第4章 学生の受け入れ

大学・学部等の学生の受け入れ

1 . 入学者受け入れ方針	44
2 . 学生募集方法	
(1) 目的	44
(2) 現状	44
(3) 点検・評価	45
3 . 入学者選抜方法	
推薦入学選抜	
(1) 現状	46
(2) 点検・評価	47
(3) 改善・改革方策	49
一般入学選抜選考	
(1) 現状	50
(2) 点検・評価	51
(3) 改善・改革方策	53
編入学選抜	
(1) 現状	54
(2) 点検・評価	55
(3) 改善・改革方策	55
4 . 定員管理	
(1) 現状	58
(2) 点検・評価	59
(3) 改善・改革方策	59
5 . 退学者の状況と退学理由	
(1) 現状と評価	60
(2) 改善・改革方策	60

大学院研究科の学生受け入れ

文化人類学研究科	
1 . 目標	64
2 . 現状と評価	64
3 . 改善・改革方策	65
臨床心理学研究科	
1 . 目標	65

2 . 現状と評価	66
3 . 改善・改革方策	67

第 5 章 教員組織

学部・学科の教員組織

1 . 目的・現状	69
2 . 点検・評価と今後の方向	

文化人類学科	69
--------	----

臨床心理学科	70
--------	----

現代社会学科	70
--------	----

教育研究支援職員

1 . 現状と点検・評価

文化人類学科	71
--------	----

臨床心理学科	71
--------	----

現代社会学科	72
--------	----

情報処理教育

(1) 現状	72
----------	----

(2) 点検・評価	73
-------------	----

(3) 今後の課題	74
-------------	----

教員の募集・任免・昇格に対する基準・手続き

1 . 現状	74
--------	----

2 . 各学科の特徴

文化人類学科	74
--------	----

臨床心理学科	75
--------	----

現代社会学科	75
--------	----

大学院の教員組織

1 . 教員組織の目標・適切性・妥当性

文化人類学研究科

(1) 目標	75
----------	----

(2) 現状・適切性・妥当性	75
------------------	----

臨床心理学研究科

2 . 教員の募集・任免・昇給に関する基準・手続き	76
---------------------------	----

第 6 章 研究活動と研究環境

研究活動

1 . 研究活動の現状

(1) 研究成果の発表状況	78
-----------------	----

(2) 科学研究費補助金利用による研究状況	78
-------------------------	----

(3) その他の学外研究資金への応募状況	79
------------------------	----

(4) 紀要等の発行状況	80
----------------	----

(5) その他の学内研究活動	83
2 . 研究活動の課題と展望	84

研究環境

1 . 研究助成の現状	
(1) 個人研究費	85
(2) 研究成果刊行助成制度	85
(3) 人間学部海外出張助成制度	86
(4) 文化人類学科海外学術調査奨励金制度	87
(5) 臨床心理学研究科海外研修旅費	87
(6) 臨床心理学研究科国際共同研究費	88
2 . 研究室等	88
3 . 研究員派遣制度	88
4 . 研究環境の課題と展望	90

第 7 章 施設・設備等

1 . 施設の目的	92
2 . 現状及び課題と対応	
(1) 教室・研究室	93
(2) 設備の管理と利用上の配慮	93
(3) 大学院の施設・設備等	94
(4) その他の施設等	94
(5) 情報処理教育のための施設・設備	95

第 8 章 図書館および図書・電子媒体等

1 . 組織と運営	
(1) 業務体制	99
(2) 運営	100
(3) 業務委託	100
(4) 短期大学との業務提携	101
2 . 蔵書資料	
(1) 蔵書構成	101
(2) 資料の収集と予算の執行	102
(3) 電子ジャーナル・オンラインデータベース	102
3 . 図書館の施設・設備	103
4 . 利用状況とサービス	
(1) 利用時間と時間外開館について	103
(2) 学外の利用者	103
(3) 学術情報サービス及び利用者教育・情報リテラシー教育	104
(4) 図書館の電子化・ネットワーク化	104
(5) 学外の図書館間の相互利用	104

(6) 学生アンケート	105
5 . 地域貢献	105
第 9 章 社会貢献	
1 . 目的	116
2 . 現状	
(1) 地域・社会との連携・協力	
文化人類学科	116
臨床心理学科	117
現代社会学科	118
(2) 公開講座の開催状況	118
3 . 点検・評価と今後の課題	120
第 10 章 学生生活	
学生への経済支援	
< 学部学生への経済的支援 >	
1 . 現状	
(1) 奨学金制度等による経済的支援	121
(2) 学費等の分納・延納および減免制度による経済的支援	123
(3) アルバイトおよび住居等の紹介による経済的支援	124
(4) 保険による経済的支援	125
2 . 点検・評価	
(1) 奨学金制度等による経済的支援	126
(2) 学費等の分納・延納および減免制度による経済的支援	126
(3) アルバイトおよび住居等の紹介による経済的支援	127
3 . 改善・改革方策	
(1) 奨学金制度等による経済的支援	127
(2) 学費等の分納・延納および減免制度による経済的支援	128
(3) アルバイトおよび住居等の紹介による経済的支援	128
(4) 保険による経済的支援	128
< 大学院学生への経済的支援 >	
文化人類学研究科	
1 . 目標	129
2 . 現状	129
3 . 課題および改善・改革方策	130
臨床心理学研究科	
1 . 目標	130
2 . 現状	130
3 . 課題および改善・改革方策	131

生活相談等

1．学生相談室	
(1) 現状	131
(2) 課題	133
(3) 改善・改革方策	133
2．健康管理センター	133
3．ハラスメント防止のための措置の適切性	
(1) 目的	136
(2) 点検・評価および改善・改革方策	136

就職指導

1．現状	137
2．点検・評価	138
3．改善・改革方策	139

< 大学院生の進路選択指導 >

文化人類学科

1．現状	140
2．課題点と改善・改革方策	140

臨床心理学科

1．現状と評価	140
2．課題点と改善・改革方策	141

学生の課外活動

1．現状	
(1) 自治会活動	142
(2) 自治会に所属しない団体・個人の課外活動	143
(3) その他	143
2．課題と改善・改革方策	
(1) 自治会活動	144
(2) 自治会に所属しない団体・個人の課外活動	144
(3) その他	145

第11章 管理運営

大学・学部の管理運営体制

1．教授会	
(1) 京都文教大学教授会規程	153
(2) 教授会の運営	153
(3) 各種委員会	154

(4) 教員人事	154
(5) 課題と今後の方向	154
2. 大学運営の会議体	
(1) 大学教学会議	155
(2) 大学運営会議	155
(3) 課題と今後の方向	155
3. 学長、学部長の権限および選任手続	
(1) 学長権限および選任手続	156
(2) 学部長権限および選任手続	157
(3) 課題と今後の方向	157
4. 教学組織と法人理事会との関連	
(1) 理事会	158
(2) 常務理事会	158
(3) 評議員会	158
(4) 課題と今後の方向	159

大学院の管理運営体制

1. 大学院委員会	159
2. 研究科委員会	160
3. 文化人類学研究科	160
4. 臨床心理学研究科	160
5. 事務組織	161
6. 課題と今後の方向	161

第12章 財務

現状

1. 消費収支計算書関係比率	
(1) 人件費比率	162
(2) 教育研究経費比率	162
(3) 消費支出比率	163
(4) 消費収支比率	163
2. 貸借対照表関係比率	
(1) 固定資産構成比率・流動資産構成比率	163
(2) 固定比率	164
(3) 流動比率	164
(4) 負債比率	164
(5) 自己資金構成比率	164
(6) 消費収支差額構成比率	164

点検・評価および課題	
1．収支関係	164
2．貸借対照表関係	164
3．課題と今後の方向	164
第13章 事務組織	
大学・学部・大学院の事務組織	
1．現状	
(1) 事務組織と教学組織	168
(2) 各種委員会と事務組織	169
(3) 学科会と事務組織	169
2．課題と今後の方向	169
第14章 自己点検評価	
現状	
1．目的	171
2．組織	171
3．活動状況	171
課題と今後の方向	172
大学に対する指摘事項および勧告などへの対応	
1．文部科学省からの指摘事項	
(1) 留意事項	173
(2) 履行状況	173
2．大学基準協会からの勧告	173
第15章 情報公開・説明責任	
財政公開	
1．現状	181
2．課題と今後の方向	181
自己点検・評価結果の公開	
1．現状	181
2．課題と今後の方向	182
終章	183
基礎データ	193
京都文教大学に対する加盟判定審査結果ならびに認証評価結果	243